

平成26年度 徳倉小学校区 第2回きずなづくりトークまとめ ～仮称：地域コミュニティ連絡会～

10月10日(金)に開催された「徳倉小学校区第2回きずなづくりトーク～仮称：地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。
(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話983-2708)

ご参加ありがとうございました。



【当日参加団体一覧】

団体名		
徳倉第1町内会	民生委員・児童委員	徳倉小学校
徳倉第2町内会	菊寿会	徳倉小学校 PTA
徳倉第3町内会	消防団第4分団	北上地区地域包括支援センター
エコリーダー	徳倉幼稚園	徳倉4丁目子ども会
環境美化推進員会	徳倉幼稚園 PTA	末広子ども会
体育振興会		

※当日参加者 19名

会場アンケート：「テーマ別会議」「協議会設立」について、
当日参加者の意向を伺いました。



【会場アンケート結果】

テーマ別会議
①組長レベルで要援護者を把握できる防災組織へ整えていきたい・・・・・・・・・・ 4人
②あいさつが普通にかつ、安全に行える地域にするための具体的な方法を考えよう・ 10人
③高齢者同士のコミュニケーションを高めて、見守りの協力体制につなげよう・・・・ 4人
④その他・・ 1人

※テーマ①&③と②の2グループに分かれ、話し合いました。(別紙「テーマ別会議まとめ」参照)

協議会設立の意向
①協議会に向けた取組みを進めたい・・・・ 4人
②連絡会を継続したい・・・・・・・・・・・・ 10人
③その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2人

テーマ①「組長レベルで要介護者を把握できる防災組織に整えたい」 &
 ③「高齢者同士のコミュニケーションを高め見守りの協力体制につなげよう」

(テーマ①&③班:参加人数8人)

要介護者とは？



災害時は

- 乳幼児を持つ母親
- 障がい者(児)
- なども含まれる。

今日話すのは、

【民生委員が調査。台帳あり】

- 65歳以上、独居者、要介護の方
- 台帳A: 援護を必要とする人
- 台帳B: 援護を拒否している人

高齢者同士コミュニケーション

- ・高齢者の組づくり(4~5人ごと)
- ・自治会と老人会とのつきあい

『組レベル』で把握 = だんだん周囲が分かるようにする！

■黄色いハンカチの活用

- ・自分も訓練に参加しているという意識付けになる。
- ・黄色いハンカチの意味を知らない人がいる。皆が意味も含めて分かるように、訓練で紹介する。
- ・徳倉校区全体で黄色いハンカチの意味を把握する。
- ・民生委員と協力し進める。



- ★シニアクラブで行っている標語に、「黄色いハンカチを見守ろう」も入れる。
- ★徳倉学区の人がたくさん集まるイベントでアピールする(区民運動会など)

■台帳(名簿)に頼らない

- ・名簿に頼らない。災害時、名簿が見られない状況が起きるかもしれない。非常に困る。



- ★家族、ご近所の日ごろのコミュニケーションが必要。
- ★隣りの家だけ気にかける。
- ★中学生、高校生の活用。(担当を決めておく)

■台帳(名簿)を公開

- ・組長が名簿を配布、周知する。
- ・要介護者名簿を組全員に広報 ⇒ 防犯(泥棒など)に対するリスクがある為、オープンにしすぎないように配布の仕方に注意が必要。
- ・組全員で認識する。
- ・援護の必要ない元気な方も名簿に載っている ⇒ 組全員で把握することで、判別ができる。

■独居高齢者の情報を持つキーパーソンを活用する

- ・地域の人だけでなく、買物場所(コンビニ等)に協力をあおぐ。

- ★「困った時はお互い様講座」(包括支援センター主催)に参加すると良くわかる。

テーマ②「あいさつが普通にかつ、安全に行える地域にするための具体的な方法を考えよう」

(テーマ②班:参加人数 11名)

そもそもあいさつとは？

- ・様子・体調がわかる
- ・人と人がつながるきっかけ
- ・コミュニケーションの基本
- ・顔見知りになる⇒防犯になる



あいさつの
範囲を小か
ら大へ！

良かったあいさつ

返事がある

- ・あいさつを返してもらった時
- ・自分からあいさつをすると必ず返ってくる
- ・声をかけようと思った時に先に元気な声でおはようが戻ってきた時
- ・横断歩道で道を譲った時「ありがとうございます」とあいさつしてもらえた時
- ・「おはようございます」に「ありがとうございます」の子供の声が返ってきた時
- ・「おはようございます」の声に「ごろうさまです」の声が返ってきた時

気持ちが明るくなる・嬉しくなる

- ・楽しい時／相手が明るい時
- ・今日一日頑張るぞと自分自身の気持ちにスイッチを入れることができた時
- ・剣道の時の気持ちの有り方(礼に始まり礼に終わる)⇒自然とあいさつが身につく
- ・今まではにかんでいた子が勇気を出して小さな声で「おはよう」が言えるようになった時
- ・幼稚園で先生や子供のあいさつが飛び交っている時
- ・小学校に行った時、こちらから何も言わなくても子供達があいさつをしてくれた時

知らない人とコミュニケーションが取れる

- ・旗振りの活動中、小学生だけでなく中学生ともあいさつを交わせた
- ・通りすがりに中学生や小学生など見知らぬ子から気持ちよくあいさつされた
- ・犬の散歩中、知らない方と子供達があいさつを自然に交わしている時
- ・知らない中学生・高校生にこんにちはとあいさつされた時
- ・自宅の前を通る名前を知らない中学生におはようございますと声をかけたら、元気良く返してくれ、次回からは自らあいさつしてくれるようになり、元気をもらえます

あいさつしにくい時・・・

- ・無視するような、あてつける様子
- ・ウォーキング中など下を向いていると声をかけづらい(微妙な空気)
- ・小学生に声をかけたいがげげんな顔をされる⇒あいさつしていいのかわからない
- ・登下校の見守り中、子どもはいいが、大人があいさつしない／マナーが悪い

・不審者対策とあいさつでは安全が優先
・地域共通のアイデアがあれば・・・

徳倉小独自のあいさつを考えよう！



ご近所・顔見知りから

- ・自分から進んで行く／まず自分からできる子に(家族で)
- ・大人同士があいさつし合う(ご近所で)
- ・まずは「できる人ができることを」の精神で、少しずつあいさつの輪を広げていく。時々できる人が情報(結果)報告。情報の発信等をする
- ・まず隣組から⇒あいさつのできる町内に

相手の名前を呼ぶ工夫

- ・少しでも相手を知っていたら、名前を呼んであいさつ「～さん、おはよう」
- ・現在、小学生の名札は裏返しなので、極力名前を覚え呼ぶようにしている
- ・名前を呼ぶとお互いに親近感が沸く

服装・バッジ等の工夫

- ・消防団の作業服／スクールガードのチョッキ等⇒着ているだけで安心する
- ・徳倉区共通のバッジや腕章などをつける。地域の方にも協力をお願いする(TOKURA Smile バッジなど)

言葉の工夫

- ・おはようのあいさつの前に「ヨッ！」と掛け声を入れる(馴れ馴れしく感じるかもしれないけれど…)
- ・「おはよう、ご安全に」
- ・江戸時代の人は必ず何か言葉を添えながらあいさつをしていたそうです(大人同士)
例:「おはようございます。元気ですか」
「おはようございます。いい天気ですね」

ジェスチャーの工夫

- ・鼻の頭をさわってからあいさつ
- ・手を振りながら声を出してあいさつ
- ・「おはよう」の言葉と一緒に手を上げる(手のひらを相手に見せる)
- ・ラッパーの様なボディランゲージ
ハイタッチで「Hey men！」
- ・英語で何かジェスチャー(握手しながらとか)付きで「Good morning」など

・小学生の子どもと朝登校時、スクールガードさんの元気のいいあいさつと子どもに対しての一言がとても元気をもらった

・スクールガードでお世話になる皆さんのあいさつだけではなく、子ども達への声かけに子ども達が楽しそうにあいさつしている

★スクールガードの活動内容

- ・現在スクールガード 28 名で活動
- ・登校時 7:20～8:00
- ・下校時低学年 14:45～、高学年 15:40～(20分ほど)
- ・下校時間は毎月プリントでお知らせが来る
- ・見守りはできる時間に行く(色々なパターンがある)

★子どもが地域であいさつできるように！

- ・10/12(日)、お祭りがある。子ども達がしっかりあいさつできるようにしたい。地域の方もあいさつを返すよう、子ども達の見守りをお願いしたい。

◎今回は時間がなく、アイデア出しまでしかできませんでしたが、ぜひ皆さんで話しあう場を持ち、このアイデアのうち何か一つでも実現することを、期待しています。